

「町田市中学生フォーラム」の実施報告について（詳細版）

1 概要報告（2月に周知済みのものを再掲）

1 目的

- 児童・生徒が自分たちの学校生活の中にある課題などをテーマに、主体的に考え、発信する機会を通して、児童・生徒に豊かな心を醸成する。
- 2022年度は、テーマを「いじめ防止に向けて」とし、児童・生徒のいじめ防止に向けた主体的な取り組みの活性化を図るとともに、町田市全体でいじめについて考える機会とした。

2 概要

- 今年度初めて開催した。今後もテーマを変えながら開催していく予定である。
- 町田市立中学校各校2名の代表生徒が集い、会の進行や話し合いを生徒が主体となって進めていった。
- 各学校でいじめ防止のために日々取り組んでいることを基に、自分たち自身にできることを話し合い、市内の児童・生徒に向けたメッセージをまとめた。
- メッセージは、今後、会の様子を伝えるレポートとともに、町田市立小・中学校へ周知し、来年度各学校で実施されるいじめ防止のための授業に活用する。

3 実施日時・会場

2023年1月24日（火） 午後2時30分から午後4時30分まで
町田市庁舎 10階 10-2～5会議室

4 会の流れ

- (1) 開会式
- (2) 各学校のいじめ防止に関する取組の共有
- (3) 市内の児童・生徒に向けたメッセージ作成
- (4) 閉会式

5 生徒が作成した市内の児童・生徒に向けたメッセージ

グループ	中学校名	メッセージ
A	町田第一・成瀬台・武蔵岡	抱え込まずに Let's 報・連・相
B	町田第三・鶴川・木曽	事実！いじりはいじめに変化する
C	町田第二・山崎・真光寺・小山田	つくる・知る・寄り添う ～みんなで変わろう～
D	南・つくし野・小山	いじめをする人の「ごめんなさい！」の勇氣 される人の「助けて！」の勇氣 見ている人の「大丈夫？」の勇氣 ～勇氣を持って行動に～
E	南大谷・南成瀬・忠生	笑顔はつづくよどこまでも ～みんなでつくる温かい場所～
F	鶴川第二・薬師・金井・堺	認め合おう ～いじめゼロの環境作り～

6 資料

(1) 生徒の活動の様子



(2) 生徒が意見交流する過程で作成したメモ、メッセージの説明

各校の取組を共有した際の ホワイトボードのメモ	メッセージに込めたい 思いやキーワード	市内の児童・生徒に向けた メッセージ
【 D グループ 】	【 A グループ 】	【 B グループ 】
【 E グループ 】	【 F グループ 】	【 C グループ 】

2 各グループの活動の様子

(1) Aグループ（町田第一中学校・成瀬台中学校・武蔵岡中学校）

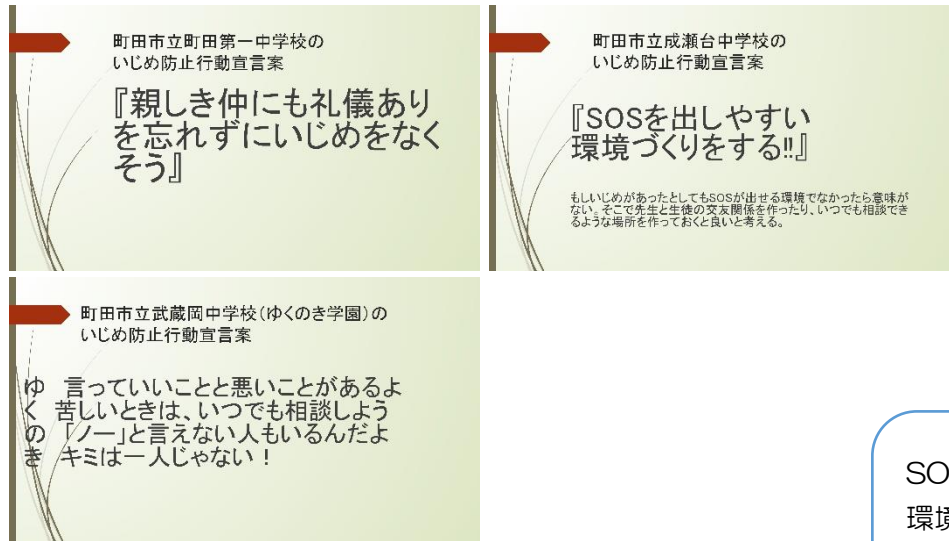
◎各学校のいじめ防止に関する取組の共有

○成瀬台の先生と仲良くなる取り組みがとても良いと思った。（武蔵岡中学校）

○心のアンケート、SOSを見逃さないことが大切。心のアンケートに慣れてしまっているのが課題。（成瀬台中学校）

○いじめゼロキャンペーンを行っている。いじめを表面上だけでなく、本質的なことを理解することが大切。（町田第一中学校）

◎各学校で考えたメッセージ案を発表



◎メッセージに込めたい思いやキーワードを書きだす

Aグループ メッセージに込めたい思い、キーワード ※ダブルクリック（タップ）して記入

いじめは良くな
いというこを
本当に知ってほ
しい

みんなが良
い楽しい学
校生活

いじめが
なくす

言葉を
選ぶ

傷つく言葉
を言わない

相手を
尊重し
ていく

年
の差など
を関係なく
仲良くな
ける

みんな
仲間

楽しく
過ごす

笑顔で通
せるように

笑う門
には福
来たる

いじめがなく、
生徒全員がずっ
と笑っていられ
る環境を作りたい

SOSを出し
やすい環境
づくり

何でも言
い合える環境

話しやすい
環境を作る

相談しやす
い環境をつ
くる

ほろれんそ
う（報告連
絡相談）

加害者も被
害者にも心
に届いてほ
しい

いじめが起
きにくい環
境を作りたい

ありが
とう

Let's
相談

抱え込
まない
で

SOSを出せる
環境にないとい
いじめは解決しな
いのではないかと
（成瀬台中学
校）

1年生、小学生
でもわかりやす
いものが良い
（武蔵岡中学
校）

市内の児童・
生徒に向けた
メッセージ

Aグループが作成したメッセージ

抱え込まずに

ほう れん そう
Let's 報・連・相

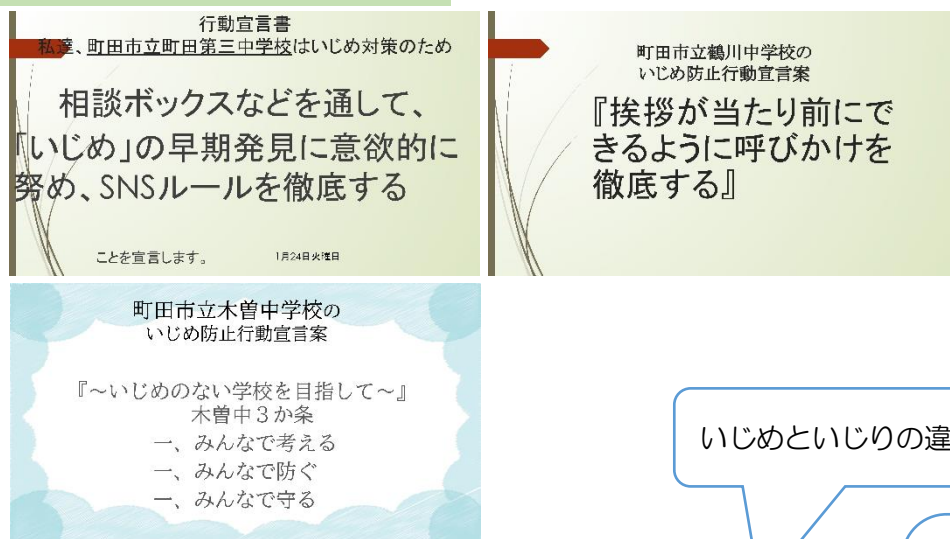
報連相というのは報告・連絡・相談の略。
報告、連絡は周りが気づいてくれるものであり、相談は困ったときに自分がするもの
であるため周りも自分も抱え込まずに報連相してほしい。

(2) Bグループ（町田第三中学校・鶴川中学校・木曽中学校）

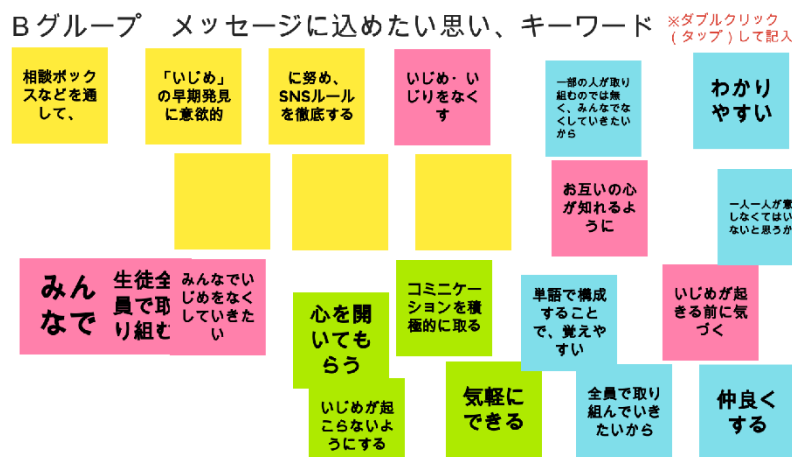
◎各学校のいじめ防止に関する取組の共有

- 目安箱を設置してほしい意見は、どれくらいあったか。本校では、活用している生徒が少なかったのでアンケートをとっている。（木曽中学校）
- ただやるだけでなく、意図をもって取り組んでいかないと意味がない。（町田第三中学校）
- 各校の取り組みを、事項の取り組みに生かしていきたい。（鶴川中学校）

◎各学校で考えたメッセージ案を発表



◎メッセージに込めたい思いやキーワードを書きだす



いじめといじりの違いは？

いじりが起きた時点でいじめではないか。
（鶴川中学校）

インパクトがあったほうがいい。（木曽中学校）

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Bグループが作成したメッセージ

事実！

いじりはいじめに変化する

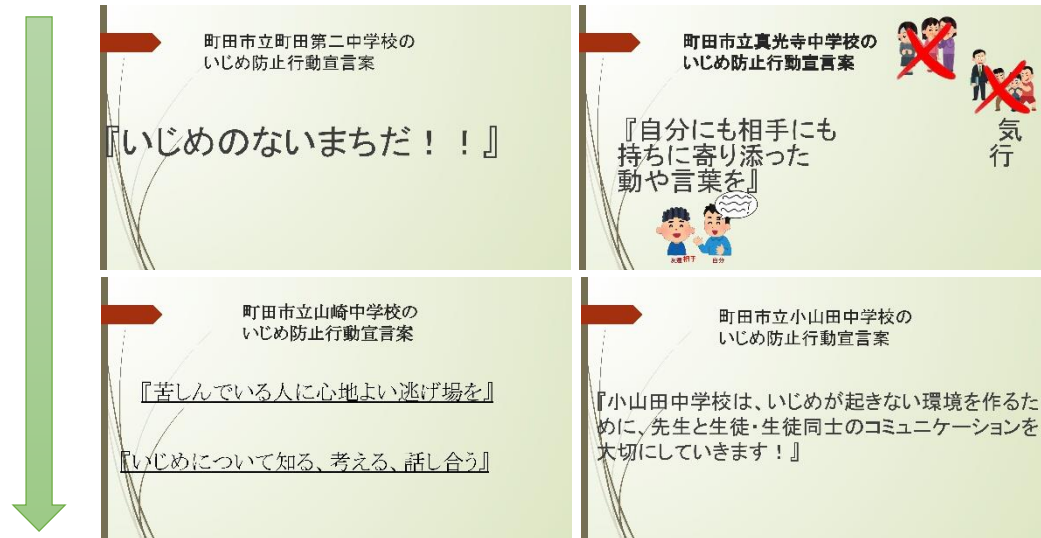
- ・小さいいじめをなくせば、大きないじめはなくなる
- ・いじめが何故起こってしまうか知ってもらうため

(3) Cグループ（町田第二中学校・山崎中学校・真光寺中学校・小山田中学校）

◎各学校のいじめ防止に関する取組の共有

- ネット上で目安箱（小山田中の取組）があるのはすごい。時代が変わってきた。（真光寺中学校）
- 女子がネクタイをしているということが聞けて良かった。（山崎中学校）
- （真光寺中の取組に対して）頼るというのが新しい。今まで考えていなかったからすごい。（町田第二中学校）

◎各学校で考えたメッセージ案を発表



◎メッセージに込めたい思いやキーワードを書きだす



市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Cグループが作成したメッセージ

つくる・知る・寄り添う
～みんなで変わろう～

- ・つくる → いじめが起きない雰囲気や環境、良好な関係
- ・知る → いじめ、相手や自分、逃げ場があるということについて
- ・寄り添う → 加害者、被害者、傍観者にも寄り添っていく
- ・変わろう → 上の3つを実現することでみんなで変わっていく

(4) Dグループ (南中学校・つくし野中学校・小山中学校)

◎各学校のいじめ防止に関する取組の共有

- アンケートをしていじめの傾向を把握している。クロームでアンケートをとると、実際の声を聞けてよい。(南中学校)
- 実際に起こりそうな事案を基にした発表(南中の取組)は、自校でも生かしたい。(つくし野中学校)
- 色々な考えが学べてよかった。個人の考えを掲示することによって責任が生まれることが効果的だった。(小山中学校)

◎各学校で考えたメッセージ案を発表

いじめ防止行動宣言案

見てみぬふりはやめましょう。『**あなたがその子のヒーローに**』を目指します。私たちは、相手に優しく思いやりをもって行動することを宣言します。

町田市立つくし野中学校の
いじめ防止行動宣言案

『3視点で考えるいじめ0宣言』
～道標をつくる～

←南中

町田市立小山中学校の
いじめ防止行動宣言案

①スローガン形式
②と比べたら、印象強く残る。

あなたの止める勇気で助かる心がある。
あなたの加勢する行動で助ける心がある。

どちらをあなたは選択しますか？

③具体的に示す形式
④①と比べると、何をすればよいのか明確になる。

1. 周りに流されず、いじめに加わらない。
2. いじめを見逃さず、相談や自ら止めるなどの必ず行動をする。
3. それぞれの個性を認め、尊重する。
4. 一人で悩まず相談する。

◎メッセージに込めたい思いやキーワードを書きだす

Dグループ メッセージに込めたい思い、キーワード

いじめは他人事ではない

その一言、行動で助かる人、傷つく人がいる

一言一言に責任を

止める勇気

助ける

寄り添う

1人にはしない

一人にしない

自分の行動でいじめをなくす

自らがめる

周りに流されない

言葉の意味を考える

いじめに気づく

あたたかい

相談

加勢しない

個性

思いやりを持って接する

見てみぬふりをやめる

hero

心は宝物

思いやり

助けを求める

零と一

被害者 加害者 傍観者

しない、されない(声を上げる)、見放さない

三視点

※ダブルクリック(タップ)して記入

いじめを「する人」「される人」「第三者」の3つの視点から考えられないか…

全てに共通したキーワードがないかな…

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Dグループが作成したメッセージ

いじめを

する人の「ごめんなさい！」の勇気

される人の「助けて！」の勇気

見ている人の「大丈夫？」の勇気

～勇気を持って行動に～

(5) Eグループ（南大谷中学校・南成瀬中学校・忠生中学校）

◎各学校のいじめ防止に関する取組の共有

- 南大谷中ではあいさつ運動の実行委員がバッジをつけている。バッジはみんなが見えていい。（南大谷中学校）
- いじめはあまり見ない。身近じゃない。（南大谷中学校）
- SNS上で行われている。（南成瀬中学校）
- いじめはどこからがいじめか？学校って楽しいと思えるのがゴールでは？（忠生中学校）

◎各学校で考えたメッセージ案を発表

町田市立南大谷中学校の
いじめ防止行動宣言案

『私たちはあいさつを通して安心し、相談できる場所をつくるとともに、個性を尊重し、個性が輝ける環境を目指します。』

町田市立南成瀬中学校のいじめ防止行動宣言案

『深い理解・主体性』

- ・いじめの深刻さを理解する
- 相手の気持ちを理解する
- ・理解したその上で、行動へつなげたい
- そのために主体性が大事

忠生中学校の宣言

「一日一笑 これ絶対
みんなでつなごう笑顔の輪」

安心はみんなに関わることで入りたい（忠生中学校）

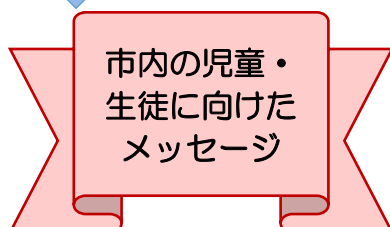
◎メッセージに込めたい思いやキーワードを書きだす

Eグループ メッセージに込めたい思い、キーワード

相談できる雰囲気	助けられる、安心できる	個性が活かせる	思いやり	一日一笑	※ダブルクリック（タップ）して記入 「みんなで行うこと。みんなが主体になること」
温かい場所（学校）	互いを認め合う	信頼し合う関係	相手の気持ちを考えて行動する	繋ぐ	生徒が生徒に
深い理解	主体性	信頼・相談		笑顔の輪	常にプラス思考
相手の気持ちを考えた行動	いじめについて理解した上で、責任を持って対応すること（主体性）が重要であると感じながら。	責任			

いじめはそもそも起こさない法が良い。（南成瀬中学校）

あたたかい場所を「おでん」で例えては（南大谷中学校）



Eグループが作成したメッセージ

笑顔はつづくよどこまでも

～みんなでつくる温かい場所～

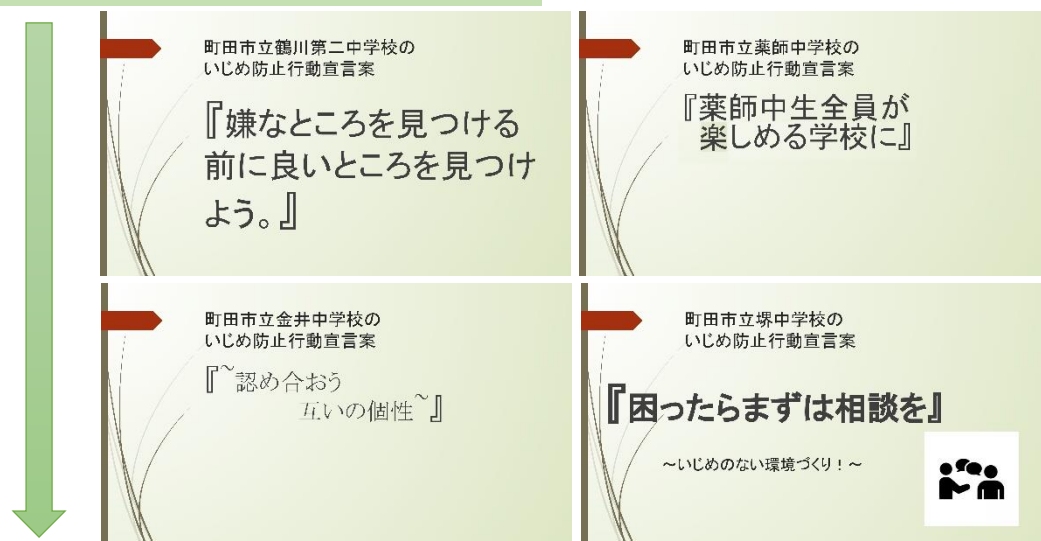
いじめをなくすのではなく、そもそもいじめを起さないということをコンセプトにしました。

(6) Fグループ（鶴川第二中学校・薬師中学校・金井中学校・堺中学校）

◎各学校のいじめ防止に関する取組の共有

- 三本柱を決めていて、実際に行動指標を作っている。まず、全校生徒にわかってもらうように声掛けをしている。（鶴川第二中学校）
- 今年度、新しくホームページを作成した。放送や新聞、ホームページなどでさまざまな媒体で発信している。（堺中学校）
- いじめということを学校内で取り上げたことがなかった。他校と共有することで考えが広がった。（薬師中学校）

◎各学校で考えたメッセージ案を発表



◎メッセージに込めたい思いやキーワードを書きだす

Fグループ メッセージに込めたい思い、キーワード ※ダブルクリック（タップ）して記入

自分も関係者

良いところを見つける

互いを認め合う

個性を認める

一人で抱え込まない

感謝を伝える

前向きな考え

良い環境づくり

相談

止める勇気

まずコミュニケーション

笑顔

認める

尊重し合う

自分の気持ちを押し付けない

積極的な助け合い

良い面をみよう

みんな、全員

悔いのない毎日に

明るい言葉を掛け合う

思いやり

考えてから行動する

笑顔をやささない

相談しやすい環境

ポジティブ

たくさんありがとう

「一人で抱え込まない」は安心するのでいいと思う。（金井中学校）

認めることによって、その人を支えることになる。（鶴川第二中学校）

市内の児童・生徒に向けたメッセージ

Fグループが作成したメッセージ

認め合おう

～いじめゼロの環境作り～

3 参加生徒へのアンケート結果

(1) 実施期間 2023年1月24日(火)から2023年1月27日(金)まで

(2) 回答数 37件(参加者40名、回答率92.5%)

(3) アンケート結果1：選択項目

設問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない
中学生フォーラムでは、いじめ防止について考えることができましたか。	100% (37件)	—	—	—
いじめ防止について、積極的に取り組みたいと思いましたか。	100% (37件)	—	—	—
各学校のいじめ防止に関する取組について、自分の学校でも取り組みたい。	89.2% (33件)	10.8% (4件)	—	—
各学校のいじめ防止に関する取り組みの発表や、いじめ防止のためのメッセージづくりの際に、協力して話し合うことができましたか。	97.3% (36件)	—	2.7% (1件)	—

(4) アンケート結果2：今後、町田市中学生フォーラムで話し合ってみたいテーマ

- | | |
|----------------|----------------------|
| ○環境問題(SDGs) | ○校則の見直し |
| ○標準服について | ○各校の生徒会活動の共有 |
| ○地域交流・貢献 | ○学校をより良くするための取り組みの共有 |
| ○SNSの使い方 | ○人間関係 |
| ○コロナ禍による行事縮小 | ○学校の様子(授業や生活態度など)の共有 |
| ○他校との交流 | ○より良い授業 |
| ○学校を盛り上げる行事・レク | ○町田の未来 |
| ○金銭トラブル | ○不登校の人を減らすための取り組み |
| ○みんなに優しい学校設備 | ○中学生の犯罪行為 |
| ○LGBTなどの差別 | ○ギリギリに登校してくる人への対処 |

(5) アンケート結果3：感想や意見(抜粋)

- 普段他の学校の生徒とは話す機会がなかったので、私達とは違った視点からの意見を聞くことができとても楽しかったです。いじめに関することを深く考えるきっかけになり、とても良い経験になりました。
- 他校の生徒会役員の人や学級委員の人と話すのはとても新鮮でした。
- いじめについて考えるのは大事だなと思った。
- 今後も他の学校の生徒さんと交流する会を増やすことができたらいいと思います！
- 今まで考えつかなかったアイデアや意見を聞けて面白かった。またの機会があれば是非参加したい。
- 私達中学生がいじめについて考え、意見を出し合うことは私達にとって良い経験になるとともに、それぞれの中学校でのいじめ発生に対する抑止にも繋がると思うので、これからも町田市中学生フォーラムを行って欲しいと思います。
- 雰囲気がよく、積極的に意見を交換し合う事ができて、とても良かったです。
- フォーラムがなかったら出会えていなかった人もたくさんいたと思います。貴重な経験ができて本当に良かったです。

○どの学校のいじめ防止案も現実的かつ、内容が深く実施すればいじめが最大限減る
と思い参加してとても参考になりました。

○いじめを無くすには個性を尊重することがとても重要であるとわかった。

○自分の意見をしっかり発する事ができてよかったです。自分の出した意見によって
話し合いが膨らんでいくのがワクワクしました。

○今回の活動で、各学校がより良い学校づくりに励めたら良いなと思いました。

○とてもいい機会だったと思う。これからもテーマを変えて学生間の問題をいろいろ
話し合ってほしい。

○グループごとの話し合いで、少人数だったのでとても話しやすかったです。とても
貴重な機会で、有意義な時間になりました。ありがとうございました。

○自分の意見を人前で発表する大切な機会を持てただけでなく、各学校で実施してい
る取り組みを共有することができて、新しい知識も増えました。ぜひ学校に持ち帰
って新しい企画を実施していきたいです。

<意見（提案）>

○1 グループあたりのグループの学校数を増やしたほうが良いと思います。もっと、
他の学校の取り組みについて知りたい。

○学校の代表として生徒会が来ているが、その前に学年や全校で話し合う機会を設け、
そのテーマに対して自分がどう思っているかなどの一般生徒の意見が聞ける場所が
あるともっと良いのではないだろうかと思いました。

（6）まとめ

○会の内容や開催について、否定的な意見はなかった。本会が、生徒が主体的に考え
る場として、その目的に資するものであったと言える。

○2023年度の開催については、アンケート結果2や、今回の感想の中にあつた意
見なども踏まえ、より良い会になるよう、計画していく。